

パンデミックの先に働き盛りの女性がコロナ後遺症になりやすく予防するには？

2024/1/15 毎日新聞

新型コロナウイルスの後遺症については国内外のさまざまな研究論文から、働き盛りの女性に発症しやすいなど、一定の傾向が徐々に明らかになりつつある。

世界保健機関（WHO）では、後遺症患者を「発症から3カ月後に、2カ月以上の症状がある」と定義している。昨年2月に公表された横浜市立大病院の論文では、日本や米国、スイス、ノルウェーなどの7万4690人のデータを解析。オミクロン株感染者のうち後遺症患者の定義に当てはまる人は11%に上ると明らかにした。

症状別（複数回答）では、50%がだるさを訴え、頭がぼんやりするなどブレインフォグは41%に上った。その他の症状は、頭痛29%▽記憶障害28%▽嗅覚障害26%▽うつ23%——などだった。

女性に発症しやすい傾向を明らかにしたのが、米ワシントン大の研究者らだ。22年10月に米医師会誌に公表した論文では、米国やドイツ、イタリアなど22カ国の120万人を分析した結果、女性の方が発症しやすく、20～40代に多かったとまとめた。発症のピークは男女とも20代だった。

新型コロナウイルス感染症 後遺症患者の属性	
年齢	45歳(中央値)
性別	男性31.2% 女性68.8%
BMI(体格指数)	23.8(中央値)
発症から受診までの日数	186日(中央値)
感染症治療での入院	有り12.5% 無し87.5%
ワクチン接種2回以上	69.4%

後遺症患者の特徴的な症状	
倦怠感	
思考力・集中力の低下	
軽い活動や運動後、数時間～3日以内の激しいだるさ	
不眠	
頭痛	
息苦しさ	

※医学研究所北野病院を受診した後遺症患者320人を分析したデータより作成

後遺症が続く期間はどうか。英医師会誌に掲載された今年の論文では、半年続いた人は28.9%で、1年後も20.3%の人に症状が残った。2年経過しても改善しなかったのは18.1%だったため、研究チームは「半年経過して回復しなければ、大半で2年間症状が続く」と結論付けている。

後遺症が長引くメカニズムも少しずつ判明している。昨年10月にハーバード大の研究者らが公表した査読前論文によれば、12人の後遺症患者と43人の健常者の脳内を比較したところ、後遺症患者の脳には幅広く神経症が増加していた。炎症が後遺症の原因とみられている。

炎症を引き起こす原因として別の論文では、体内に新型コロナウイルスが残る持続感染や再活性化が指摘されている。感染をきっかけに免疫に異常が起こり、体を攻撃してしまうことも挙げられている。

後遺症の予防のためにはワクチン接種が有効との報告も多い。

英科学誌ネイチャー姉妹誌の論文では、マウス実験の段階だが、ワクチン接種によって脳の炎症が抑えられたと報告した。再感染してもその効果が持続したことから、後遺症の予防にもつながるとみられている。

スウェーデン・イエーテボリ大の研究チームはワクチンによる後遺症の抑制効果を具体

的に明らかにした。英医師会誌に発表した論文では、未接種者に比べて、1 回接種した人は 21%、2 回だと 59%、3 回以上では 73%ほど後遺症の発症を抑える効果がみられたと報告した。

岐阜大の下畑享良教授（脳神経内科学）は「ワクチン接種が想像以上に後遺症抑制に効果的であることを多くの人に知ってもらいたい」と強調した。

国の後遺症に関する「診療の手引き」の編集委員で、愛知医科大学の牛田享宏教授は「後遺症の患者は、血液データなどから明確な異常が見えにくいことが多いため、治療法の選択が難しい。症状も多様で、根本的な治療法は確立していない」と説明する。その上で「後遺症を抱えながら、仕事や社会活動に復帰するため、時短勤務や産業医の支援などが必要だ。社会復帰できないと、さらに症状が悪化するという悪循環に陥りかねない」と話した。

【渡辺諒】

新型コロナ感染者、8 週連続で増加 厚労省「定期的な換気を」

1 定点医療機関当たりの新型コロナウイルス感染者数											
[全国約5000の定点医療機関から2024年1月8～14日に報告されたデータの平均値]											
北海道	10.53	(1.01)	石川	10.48	(1.24)	岡山	8.67	(1.17)	※ 倍率は感染者数、単位は人、()内は前週からの一部報告は含まない		
青森	5.46	(0.91)	福井	4.31	(1.32)	広島	8.21	(1.36)			
岩手	10.34	(1.34)	山梨	12.85	(1.59)	山口	8.61	(1.52)			
宮城	7.91	(1.46)	長野	14.05	(1.11)	徳島	11.81	(1.26)			
秋田	6.25	(0.88)	岐阜	14.29	(0.94)	香川	8.51	(1.05)			
山形	6.79	(1.51)	静岡	11.35	(1.46)	愛媛	10.23	(1.61)			
福島	12.10	(1.07)	愛知	14.17	(1.14)	高知	10.98	(1.47)			
茨城	14.21	(1.16)	三重	9.92	(1.46)	福岡	8.16	(1.10)			
栃木	10.39	(1.64)	滋賀	7.60	(1.09)	佐賀	13.82	(1.63)			
群馬	8.72	(1.41)	京都	7.93	(1.34)	長崎	10.90	(1.45)			
埼玉	9.26	(1.43)	大阪	6.18	(1.31)	熊本	12.86	(1.19)			
千葉	11.41	(1.52)	兵庫	6.58	(1.35)	大分	12.02	(1.09)			
東京	5.66	(1.67)	奈良	8.22	(1.53)	宮崎	11.14	(1.50)			
神奈川	6.05	(1.81)	和歌山	8.10	(1.35)	鹿児島	7.10	(1.25)			
新潟	6.65	(1.18)	鳥取	8.24	(0.92)	沖縄	6.50	(1.36)			
富山	7.90	(1.20)	島根	6.13	(1.07)						
新規入院者数 [約500定点の合計]		2846		全国		8.96		(1.29)			

厚生労働省は 19 日、全国約 5000 の定点医療機関から 8～14 日に新たに報告された新型コロナウイルスの感染者数は計 4 万 4178 人で、1 医療機関当たり 8.96 人だったと発表した。前週比 1.29 倍で、8 週連続で増加した。能登半島地震の影響で、石川県の一部の報告は含まれていない。

厚労省担当者は「寒い日が続く、暖房器具を使用する機会が多いと思うが、定期的な換気を心がけてほしい」と話した。